

## 6 読書に関する取組

読書は、語彙力を高め、自ら考え表現できる力を養うことができ、新しい知識を獲得することが可能となります。本市では様々な活動を通じて、その知識習得意欲を養い、読書をするきっかけ作りを行っています。

### (1)ブックスタート事業

ブックスタートとは、乳児と保護者に絵本を開く体験を提供するとともに、絵本を手渡すことにより、絵本を読んでもらう心地よさや、絵本を開いてお話をする時間の楽しさを感じてもらい、本に親しむきっかけを作り、子供の健やかな成長と読書活動の推進に資することを目的とした事業です。月に1回保健センターの「1歳とことこ教室」にて絵本の読み聞かせによる「楽しい体験」と「絵本」を2冊、プレゼントしています。

| 区分  | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|-----|-------|-------|-------|-------|
| 対象者 | 100人  | 403人  | 337人  | 375人  |
| 配布数 | 81人   | 372人  | 310人  | 353人  |
| 割合率 | 81.0% | 92.3% | 92.0% | 94.1% |

図表 4-22 ブックスタート事業 配布者数

### (2)子育て支援センター連携事業

毎月1回行う、子育て支援センターでの訪問おはなし会などのイベントを通して、子供の発達を促し、親子の交流を深めるとともに、子供の読書意欲を高める役割を担っています。

| 年度         |    | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|------------|----|-------|-------|-------|
| 実施回数       |    | 10回   | 11回   | 12回   |
| 参加者<br>延人数 | 大人 | 86人   | 309人  | 131人  |
|            | 子供 | 103人  | 294人  | 165人  |

図表 4-23 訪問お話し会 参加者数

### (3)地域連携事業

地区の集会所などへの訪問おはなし会のほか、除籍本・市民本のリサイクル事業を実施しています。

## (4) 保育園及び学校等連携事業

保育園や学校は、園児や児童生徒の読書活動を推進し、読書習慣を形成していくうえで、大きな役割を担っており、これらとの連携については、図書館にとっても重要であることから、様々な事業を行っています。

### ア) 保育園・こども園連携事業

園児が本に親しむことができるよう、要望に応じて、おはなし会や団体貸出しを実施しています。

### イ) 小学校連携事業

児童が本に親しむことができるよう、要望に応じて、おはなし会やブックトーク、団体貸出しを実施しています。また図書館に親しみ、自分の心地よい居場所となるよう、図書館の利用の仕方や施設の説明を行う図書館見学やインタビュー、図書館の仕事を体験してもらう職場体験を実施しています。

### ウ) 中学校連携事業

図書館見学や団体貸出のほか、図書館の行事等で中学生ボランティアの受け入れを行っています。令和6年度は、図書館まつりやこども図書室でのクリスマス会に市内の中学生が参加しました。

### エ) 高校連携事業

図書館見学やボランティア受け入れのほか、年2回、市内にある常滑高等学校のESS (English Speaking Society) 部の生徒による、英語絵本の読み聞かせを行っています。

### ① 団体貸出事業の実施件数

| 年度    | 保育園・こども園     | 小学校         | 中学校        |
|-------|--------------|-------------|------------|
| 令和4年度 | 1園(10回)・500冊 | 2校(3回)・226冊 | 1校(1回)・75冊 |
| 令和5年度 | 1園(12回)・600冊 | 2校(4回)・242冊 | —          |
| 令和6年度 | 1園(12回)・600冊 | 2校(3回)・145冊 | 1校(2回)・80冊 |

### ② 図書館見学の実施件数（小学生）

| 見学先    | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|--------|-------|-------|-------|
| 青海本館   | 4校    | 3校    | 3校    |
| 南陵分館   | 3校    | 2校    | 1校    |
| こども図書室 | 4校    | 3校    | 3校    |

図表 4-24 団体貸出事業の実施件数

## (5)朝読の実施

小・中学校において、ホームルーム等にて朝の読書活動時間を設けている学校もあります。学校図書室にある本を中心に、目標をもって読書に取り組むなど、児童が本にふれあうよい機会となっています。

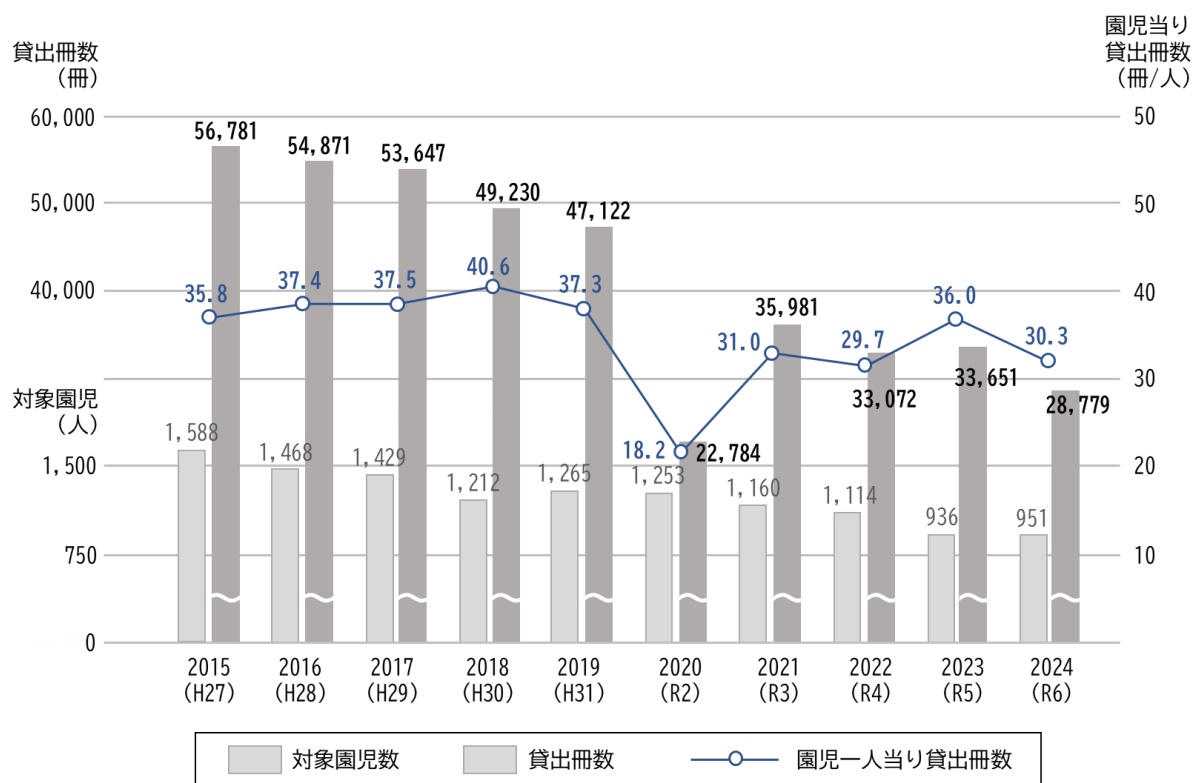
## (6)ボランティア・図書館サポーター事業

市民団体が図書館で読み聞かせ活動を行っており、令和6年度は4つのボランティア団体が計40回のお話を開催し500人以上が参加しました。

また図書館を活性化し、市民に愛され親しまれる図書館を目指して活動する「図書館サポーター」も組織しています。令和6年度は、こども図書室の書架整理や天井飾りの飾り替え、読書通帳の作成、図書館まつりやおはなし会のプレゼント作成などを行いました。

## (7)園文庫

本市では、絵本を通じて、子供と親と園をつなぎ、親子で本に親しむことができるよう、昭和53年度から幼稚園及び保育園、こども園を貸出基地とする園文庫を開設しており、園児が自分の好きな本を家庭に持ち帰ることができます。



図表 4-25 園文庫の利用者数

## (8)自主事業・共催事業

図書館の利用促進を図るため、あらゆる世代、利用者層を対象とした多様な取組みを指定管理者の自主事業や共済事業として実施しています。

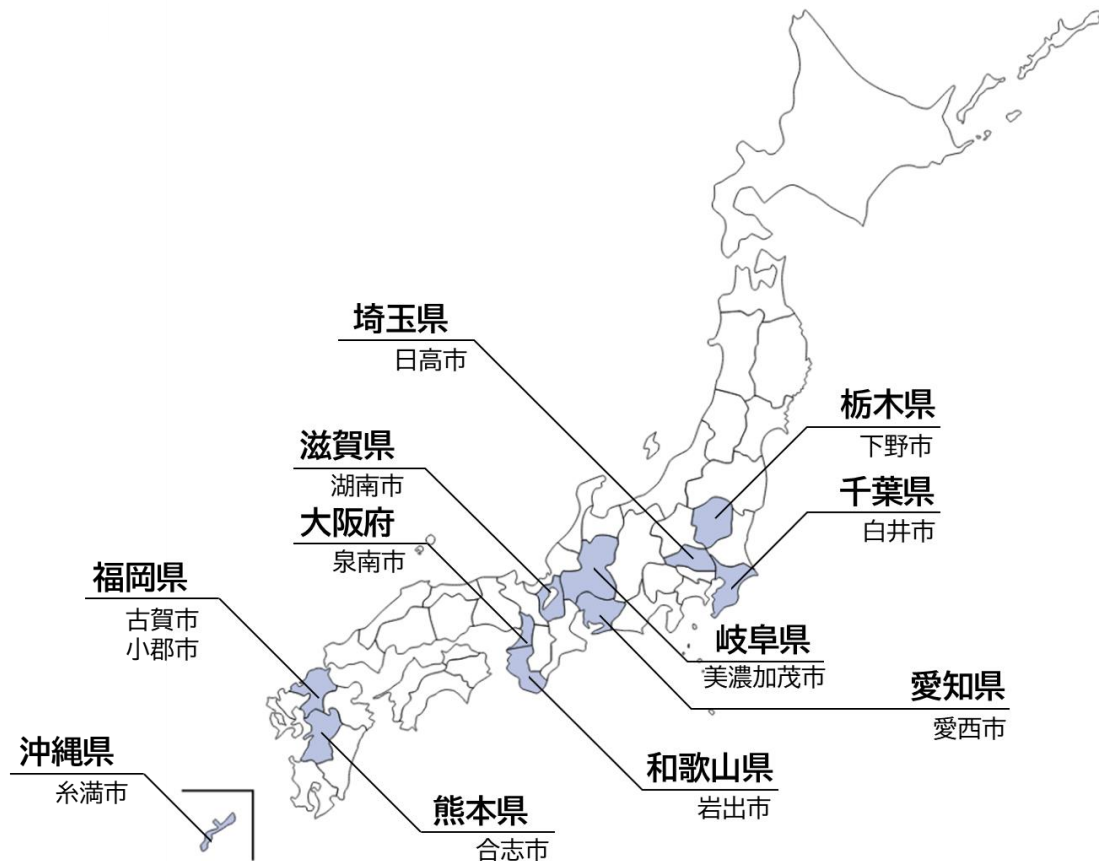
| 種別           | 事業名                             | 開催頻度 | 大人      | こども   | 備考                                             |
|--------------|---------------------------------|------|---------|-------|------------------------------------------------|
| おはなし会<br>読書会 | あかちゃん向けおはなし会                    | 月1回  | 延べ66人   | 延べ72人 |                                                |
|              | 春のおはなし会                         | 年1回  | 2人      | 2人    | ピクニックにいこう                                      |
|              | 夏のおはなし会                         | 年1回  | 10人     | 26人   | こわいおはなし会                                       |
|              | 秋のおはなし会                         | 年1回  | 8人      | 7人    | 秋のハラペコおはなし会                                    |
|              | 冬のおはなし会                         | 年1回  | 13人     | 20人   |                                                |
|              | おおきなおおきな<br>おはなし会               | 年1回  | 11人     | 18人   | おおきな絵本とおおきな紙芝居だけのおはなし会                         |
|              | 大人の夜の絵本の会                       | 年1回  | 6人      | —     | 絵本が好きな大人同士で好きな絵本を1冊持って<br>語り合う                 |
|              | 大人のためのおはなし会                     | 年1回  | 12人     | 4人    |                                                |
|              | 大人のための朗読会                       | 年1回  | 25人     | —     |                                                |
|              | 耳で読むおはなし「柴舟権現」                  | 通年   | —       | —     | 162回再生                                         |
|              | どこよりもゆい!?読書会                    | 月1回  | 延べ11人   |       | 未来屋書店と共同開催                                     |
| 講演会          | お酒にまつわる話                        | 年1回  | 13人     | —     |                                                |
|              | 市原 淳さん 記念講演会                    | 年1回  | 73人     | —     | 市制70周年記念講演会                                    |
| 交流会          | たなばた会                           | 年1回  | 53人     | 48人   |                                                |
|              | クリスマス会                          | 年1回  | 44人     | 44人   |                                                |
| 展示           | 小さな美術館                          | 年3回  | —       | —     | 1回目:ゴッホ、2回目:モネ、3回目:レンブラント                      |
|              | おすすめ本ボード                        | 通年   | —       | —     | おすすめ本を展示する                                     |
|              | 俳句ポストの設置                        | 通年   | —       | —     | 月の作品の中から入選句を選んで掲示をする                           |
| 講座           | 読書感想文を書こう                       | 年1回  | 6人      | 9人    |                                                |
|              | 毎日の暮らしに刺激を!<br>中から外からおなかを整えよう!  | 年2回  | 17人     | —     |                                                |
|              | 大切な人と語るこれからのこと<br>～みんなで考える人生会議～ | 年1回  | 21人     | —     |                                                |
|              | 知多南部広域環境センター<br>ゆめくりん共済事業       | 年1回  | 9人      | 10人   | 季節の新鮮素材を丸ごと楽しもう!<br>～ゆめくりんだれでもエコキッチン～          |
| イベント         | トコタンを探せ!                        | 2週間  | —       | —     | 1回目:計 50人、2回目:計144人                            |
|              | 本との出会いは突然に!<br>くじびきBook         | 10日間 | —       | —     | 一般書:15冊、児童書:45冊                                |
|              | ぬいぐるみおとまり会                      | 年1回  | —       | —     | ぬいぐるみ:15体                                      |
|              | 福袋                              | 2週間  | —       | —     | 青海25袋、南陵28袋、こども30袋                             |
|              | わくわく体験教室<br>市原淳さんと遊ぼう!          | 年1回  | 19人     | 20人   | 制70周年記念事業として、市原先生の絵本の読み<br>聞かせ、イラストを使ったワークショップ |
|              | HOTEL「THE LIBRARY」TOKONAME      | 年2回  | —       | 20人   | 図書館に泊まろう!夜の図書館を、BOOK HOTELと<br>してオープン          |
|              | 図書館見学ツアー                        | 年1回  | 11人     | —     | 図書館まつり「普段は入れない閉架書庫にも入れ<br>ます」                  |
|              | 工作会                             | 年1回  | 11人     | —     | 図書館まつり「パーツをのりでくっつけたり、好<br>きな絵を書いてロケットを作ろう!」    |
|              | とこポン2024(カプセルトイ)                | 年1回  | 3館計196人 |       | 図書館まつり<br>本を11冊以上借りると、とこポンを回せます                |
|              | 常滑焼の急須を使って<br>おいしくお茶を飲もう        |      | 15人     |       |                                                |
| 映画           | 上映会                             | 年1回  | 27人     | 26人   | 映画おしりたんてい<br>「さらば愛しき相棒(おしり)よ」                  |

図表 4-26 図書館主催自主事業（令和6年度実績）

## 第5章 他の自治体との比較

### 第1節 同規模自治体

同じ人口規模の自治体のうち市域面積が同程度の次の自治体について、人口1人あたりの図書館サービスの指標について比較を行いました。



| 自治体名     | 財政力<br>指 数 | 公 債 費<br>負担比率 | 将 来<br>負担比率 | 市町村<br>類 型 | 人口     | 面積<br>km <sup>2</sup> | 東西<br>km | 南北<br>km | 本館<br>面積<br>m <sup>2</sup> | 分館<br>分室 | サービ<br>ス<br>ポ イ ント | 移 動<br>図書館 |
|----------|------------|---------------|-------------|------------|--------|-----------------------|----------|----------|----------------------------|----------|--------------------|------------|
| 熊本県合志市   | 0.63       | 11.4          | -           | Ⅱ-3        | 65,227 | 53.19                 | 12.0     | 8.0      | 1,713                      | 3        | 2                  | 16         |
| 千葉県白井市   | 0.84       | 10.6          | 44.2        | Ⅱ-3        | 61,974 | 35.48                 | 8.7      | 7.7      | 2,919                      | 5        |                    |            |
| 沖縄県糸満市   | 0.53       | 10.5          | 26.2        | Ⅱ-1        | 61,898 | 46.60                 | 7.5      | 10.3     | 3,612                      |          |                    | 26         |
| 愛知県愛西市   | 0.59       | 11.5          | -           | Ⅱ-2        | 60,359 | 66.63                 | 7.9      | 7.8      | 2,054                      | 1        | 4                  | 2          |
| 福岡県小郡市   | 0.65       | 11.4          | 4.0         | Ⅱ-3        | 59,605 | 45.51                 | 6.0      | 23.0     | 1,586                      | 1        | 5                  | 27         |
| 栃木県下野市   | 0.69       | 14.1          | -           | Ⅱ-3        | 59,381 | 74.59                 | 11.5     | 15.2     | 1,488                      | 2        |                    |            |
| 福岡県古賀市   | 0.67       | 8.2           | -           | Ⅱ-3        | 59,098 | 42.07                 | 11.0     | 7.0      | 1,862                      |          | 2                  |            |
| 愛知県常滑市   | 0.93       | 9.8           | 101.2       | Ⅱ-2        | 58,710 | 55.90                 | 6.0      | 15.0     | 700                        | 2        | 2                  |            |
| 大阪府泉南市   | 0.68       | 14.3          | 40.9        | Ⅱ-3        | 57,917 | 48.98                 | 8.0      | 11.0     | 1,866                      |          |                    | 17         |
| 岐阜県美濃加茂市 | 0.76       | 8.6           | -           | Ⅱ-2        | 57,357 | 74.81                 | 11.6     | 13.8     | 1,231                      | 2        |                    |            |
| 福岡県直方市   | 0.55       | 10.6          | 49.0        | Ⅱ-3        | 54,981 | 61.76                 | 11.6     | 9.5      | 6,124                      |          |                    |            |
| 埼玉県日高市   | 0.81       | 11.0          | -           | Ⅱ-3        | 54,037 | 47.48                 | 11.1     | 6.0      | 1,780                      |          | 7                  | 6          |
| 滋賀県湖南市   | 0.73       | 16.9          | -           | Ⅱ-2        | 53,879 | 70.40                 | 9.7      | 12.3     | 2,299                      | 1        | 7                  | 22         |

図表 5-1 同規模自治体の一覧（人口順）

|          |     |           |      |             |      |             |        |
|----------|-----|-----------|------|-------------|------|-------------|--------|
|          |     | 合 志 市     | 6.60 |             |      |             |        |
|          |     | 岩 出 市     | 6.51 |             |      |             |        |
| 湖 南 市    | 312 | 湖 南 市     | 5.88 | 白 井 市       | 9.05 |             |        |
| 白 井 市    | 305 | 下 野 市     | 5.82 | 湖 南 市       | 7.05 |             |        |
| 岩 出 市    | 279 | 白 井 市     | 5.59 | 岩 出 市       | 6.69 | 白 井 市       | 170.60 |
| 合 志 市    | 277 | 古 賀 市     | 5.39 | 下 野 市       | 5.41 | 湖 南 市       | 169.50 |
| 小 郡 市    | 247 | 泉 南 市     | 5.26 | 泉 南 市       | 5.40 | 合 志 市       | 133.01 |
| 古 賀 市    | 227 | 常 滑 市     | 5.20 | 合 志 市       | 5.01 | 直 方 市       | 124.10 |
| 人口1人あたり  |     |           |      | 人口1,000人あたり |      |             |        |
| 図書費      |     | 個人貸出冊数    |      | 蔵書冊数        |      | 年間受入冊数      |        |
| (平均)213円 |     | (平均)4.86冊 |      | (平均)4.88冊   |      | (平均)106.80冊 |        |
| 下 野 市    | 202 | 小 郡 市     | 4.75 | 美濃加茂市       | 4.43 | 泉 南 市       | 95.88  |
| 日 高 市    | 201 | 日 高 市     | 4.75 | 糸 満 市       | 4.21 | 小 郡 市       | 87.07  |
| 常 滑 市    | 176 | 美濃加茂市     | 4.10 | 小 郡 市       | 3.87 | 常 滑 市       | 86.20  |
| 直 方 市    | 174 | 糸 満 市     | 3.74 | 日 高 市       | 3.80 | 古 賀 市       | 85.30  |
| 美濃加茂市    | 169 | 直 方 市     | 3.46 | 古 賀 市       | 3.78 | 日 高 市       | 82.61  |
| 泉 南 市    | 139 | 愛 西 市     | 3.07 | 直 方 市       | 3.61 | 愛 西 市       | 72.27  |
| 愛 西 市    | 139 |           |      | 愛 西 市       | 3.03 | 糸 満 市       | 68.26  |
| 糸 満 市    | 133 |           |      | 常 滑 市       | 2.95 |             |        |

図表 5-2 各種サービス指標の比較

同じ人口規模・同じ面積規模の自治体であっても、市の形状や人口の分布、自治体の財政状況により状況が異なりますが、**東西（または南北）に長い形状の自治体を見ると、分館や分室（公民館図書室を含む）や移動図書館により、市内をカバーし図書サービスを提供している所が同じですが、常滑市の本館面積が著しく狭小であることが分かります。**

比較した同規模自治体の平均から見ても、**人口1人当たりの図書費・蔵書冊数は平均を大きく下回っていることがわかります。**

また、人口1人当たりの個人貸出冊数については、平均をやや上回っているものの、望ましい基準に比べると、依然として低い結果となっています。

| 自治体名            | 人口（人）    | 館数（館） | 蔵書数（冊）    | 貸出数（点）    | 人口当たり |
|-----------------|----------|-------|-----------|-----------|-------|
| 愛知県常滑市          | 58,499   | 1     | 165,720   | 309,359   | 5.3   |
| 望ましい基準（同規模自治体）  | 58,273.3 | 3.0   | 332,719.7 | 549,288.0 | 9.42  |
| 望ましい基準（人口5～6万人） | 53,647.3 | 2.3   | 302,810.4 | 543,061.8 | 10.1  |

図表 5-3 望ましい基準

（出典：『日本の図書館 2023』、「貸出密度上位の公立図書館整備状況 2019」）

## 第2節 知多半島の自治体

近隣の自治体について、人口1人あたりの図書館サービスの指標について比較を行いました。市の形状や人口の分布、自治体の財政状況により状況が異なりますが、いずれの指標においても平均を下回っており、特に人口1人当たりの図書費・蔵書冊数は平均を大きく下回っています。

| 自治体名    | 財政力<br>指 数 | 公 債 費<br>負担比率 | 将 来<br>負担比率 | 市町村<br>類 型 | 人口      | 面積<br>km <sup>2</sup> | 東西<br>km | 南北<br>km | 本館<br>面積<br>m <sup>2</sup> | 分館<br>分室 | サービ<br>ス<br>ポ イ ント | 移 動<br>図書館 |
|---------|------------|---------------|-------------|------------|---------|-----------------------|----------|----------|----------------------------|----------|--------------------|------------|
| 常滑市     | 0.93       | 9.8           | 101.2       | Ⅱ-2        | 58,710  | 55.90                 | 6.0      | 15.0     | 700                        | 2        | 2                  |            |
| 知多市     | 0.92       | 8.2           | 19.3        | Ⅱ-2        | 82,797  | 45.90                 |          |          | 3,229                      | 3        | 3                  |            |
| 大府市     | 1.12       | 3.7           | -           | Ⅱ-2        | 93,112  | 33.66                 | 6.5      | 7.0      | 3,650                      | 11       | 11                 |            |
| 東海市     | 1.26       | 5.4           | 17.1        | Ⅲ-2        | 113,242 | 43.43                 | 8.0      | 11.0     | 2,411                      | 1        | 6                  |            |
| 半田市     | 0.96       | 4.6           | -           | Ⅲ-2        | 115,978 | 47.42                 | 10.0     | 8.0      | 1,749                      | 8        | 7                  |            |
| 知多郡東浦町  | 0.87       | 5.8           | -           | V-1        | 49,818  | 31.14                 | 8.0      | 6.0      | 2,635                      |          |                    |            |
| 知多郡武豊町  | 1.05       | 6.4           | 3.8         | V-1        | 43,318  | 25.92                 | 5.0      | 6.5      | 2,741                      |          | 1                  |            |
| 知多郡阿久比町 | 0.71       | 10.6          | 15.9        | V-2        | 28,320  | 23.80                 | 6.0      | 6.0      | 1,429                      |          |                    |            |
| 知多郡美浜町  | 0.62       | 8.5           | 9.0         | V-2        | 20,415  | 46.20                 |          |          | 3,037                      |          | 1                  |            |

図表 5-4 知多半島の自治体

|          |     |           |       |           |      |             |      |         |        |  |  |  |
|----------|-----|-----------|-------|-----------|------|-------------|------|---------|--------|--|--|--|
| 美 浜 町    | 392 |           |       |           |      |             |      |         |        |  |  |  |
| 阿 久 比 町  | 376 |           |       |           |      | 美 浜 町       | 7.64 | 大 府 市   | 236.90 |  |  |  |
| 武 豊 町    | 336 | 大 府 市     | 14.54 | 武 豊 町     | 5.56 | 美 浜 町       |      | 美 浜 町   | 223.95 |  |  |  |
| 大 府 市    | 303 | 武 豊 町     | 8.71  | 大 府 市     | 5.07 | 武 豊 町       |      | 武 豊 町   | 148.39 |  |  |  |
| 人口1人当たり  |     |           |       |           |      | 人口1,000人当たり |      |         |        |  |  |  |
| 図書費      |     | 個人貸出冊数    |       | 蔵書冊数      |      | 年間受入冊数      |      |         |        |  |  |  |
| (平均)281円 |     | (平均)7.48冊 |       | (平均)4.41冊 |      | (平均)130.35冊 |      |         |        |  |  |  |
| 東 浦 町    | 266 | 東 海 市     | 7.34  | 知 多 市     | 4.05 | 阿 久 比 町     |      | 阿 久 比 町 | 128.57 |  |  |  |
| 東 海 市    | 238 | 阿 久 比 町   | 7.15  | 阿 久 比 町   | 3.99 | 東 海 市       |      | 東 海 市   | 101.79 |  |  |  |
| 半 田 市    | 235 | 半 田 市     | 7.00  | 半 田 市     | 3.92 | 常 滑 市       |      | 常 滑 市   | 86.20  |  |  |  |
| 知 多 市    | 214 | 美 浜 町     | 6.87  | 東 浦 町     | 3.55 | 東 浦 町       |      | 東 浦 町   | 85.63  |  |  |  |
| 常 滑 市    | 176 | 知 多 市     | 5.33  | 東 海 市     | 3.13 | 知 多 市       |      | 知 多 市   | 82.56  |  |  |  |
|          |     | 常 滑 市     | 5.20  | 常 滑 市     | 2.95 | 半 田 市       |      | 半 田 市   | 79.20  |  |  |  |
|          |     | 東 浦 町     | 5.19  |           |      |             |      |         |        |  |  |  |

図表 5-5 各種サービス指標の比較

## 第6章 学校図書館の現状

大野小学校、鬼崎北小学校、鬼崎南小学校、常滑東小学校、西浦北小学校、小鈴谷小学校の6校は図書室を2室、それ以外の7校は図書室を1室有しています。

市内13校のうち、12校は学校図書館図書標準を上回る蔵書を有していますが、常滑中学校は標準に達していません。

また、全ての学校に司書教諭が配置されていますが、学校司書は配置されていません。司書教諭は通常級や特別支援学級の担任も担っており、司書教諭とは別に図書担当教諭を置いている学校もあります。購入図書の選定や、配架・蔵書点検などの管理に十分な時間をかけられない状況も見受けられます。

国が進める「GIGAスクール構想」に基づき、児童生徒に1人1台のタブレット端末と通信ネットワーク環境が整備されたことを受け、インターネットを活用した調べ学習も進んできています。

授業における使用以外での学校図書館の開館状況は各校の事情により異なっていますが、小学校では大放課と昼放課に貸出を行う学校が多く、中学校は昼放課に貸出を行っています。朝や帰りにも貸出を行う学校もあります。貸出手続きは主に図書委員が行っています。

(単位:冊)

| 学校名    | 学校図書館<br>図書標準(A) | 蔵書冊数<br>(B) | 過不足<br>(B)-(A) |
|--------|------------------|-------------|----------------|
| 三和小学校  | 7,000            | 8,140       | 1,140          |
| 大野小学校  | 7,960            | 10,766      | 2,806          |
| 鬼崎北小学校 | 7,960            | 11,140      | 3,180          |
| 鬼崎南小学校 | 12,760           | 13,510      | 750            |
| 常滑西小学校 | 12,360           | 14,205      | 1,845          |
| 常滑東小学校 | 13,360           | 16,090      | 2,730          |
| 西浦北小学校 | 7,000            | 7,051       | 51             |
| 西浦南小学校 | 6,040            | 7,297       | 1,257          |
| 小鈴谷小学校 | 6,520            | 8,338       | 1,818          |

※蔵書冊数は、令和7年度学校経営案より

図表 6-1 小学校の学校図書館図書標準と蔵書冊数

(単位:冊)

| 学校名   | 学校図書館<br>図書標準(A) | 蔵書冊数<br>(B) | 過不足<br>(B)-(A) |
|-------|------------------|-------------|----------------|
| 青海中学校 | 8,480            | 9,875       | 1,395          |
| 鬼崎中学校 | 13,920           | 15,856      | 1,936          |
| 常滑中学校 | 16,480           | 15,441      | -1,039         |
| 南陵中学校 | 10,160           | 12,777      | 2,617          |

※蔵書冊数は、令和7年度学校経営案より

図表 6-2 中学校の学校図書館図書標準と蔵書冊数

## 第7章 図書館を取り巻く環境の変化

### 第1節 図書館

#### 1 人口構成の変化

日本では、2011（平成23）年に総人口が減少に転じ、以降減少が続いています。人口構成も少子化・高齢化が進展しており、これまで働いていた人たちが退職するなどして、1日を地域で過ごす高齢者が増加しているため、彼らの居場所が必要となっていますし、少子化も加速していることから、子供の居場所づくりと子育て支援の整備も、喫緊に解決すべき課題となっています。

出生率の低下と高齢化の進行により、生産年齢人口が低下し、労働力不足が深刻化しており、共働き世帯の増加など働き方も多様化しています。ライフスタイルの変化による未婚・晩婚化の進行などから家族形態も変化しており、あらゆる世代を取り巻く生活環境が大きく変化しています。

また、少子高齢化に伴い、自治体が使える予算、人材も限られていくため、いかに効率的に予算を使い、効果的にサービスを提供していくかも課題となっています。

#### （1）高齢者の居場所

日本の高齢者は他者との交流が比較的少なく、更に一部の高齢者は、既に家族や地域との交流が著しく少ない社会的孤立状態に陥っており、社会問題を生み出しています。高齢者は他者との交流する機会を求めており、そのためほかの世代より、居場所としての図書館を必要としていると考えられます。公立図書館は地域の住民ならば、誰でも利用することができる社会施設で、自由に出入りができ、ひとりでも気軽に訪れることができます。高齢化社会における図書館に求められる機能を考える時に、図書館法によって定義された資料を収集・整理・保存の利用に供するほか、集めた資料や情報を活用し、交流の機会を作り、空間を活用し地域の交流の場として機能させることも重要となっています。

#### （2）子供の居場所

少子化が進む一方で、令和2年度には、児童虐待の相談対応件数や不登校の件数が過去最多となるなど、子供を取り巻く状況は深刻になっています。そうした現状を踏まえたうえで、日本の今後のこども政策の基本理念は「全てのこどもが、安全で安心して過ごせる多くの居場所を持つこと」と決定されました（令和3年12月21日「こども政策の新たな推進体制に関する基本方針」）。またこども家庭庁も「こどもの居場所づくりに関する調査研究報告書（概要）」において、子供の居場所について「図書館は全てのこども、若者を対象とした居場所である」と述べています。

公立図書館が子供の居場所としての機能を持つことにより、子供たちはより多くの安心することができる、自由に学ぶことができる場所と機会を得ることができます。

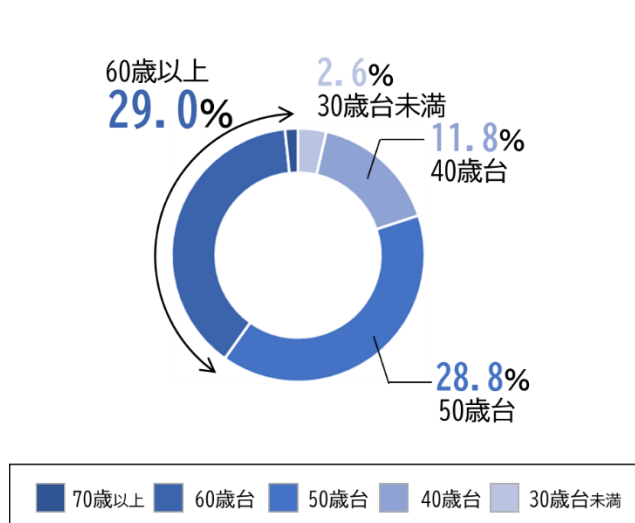
#### （3）図書館ボランティア

文部科学省の調査によると、図書館でボランティア活動をしている主な年齢層の6割

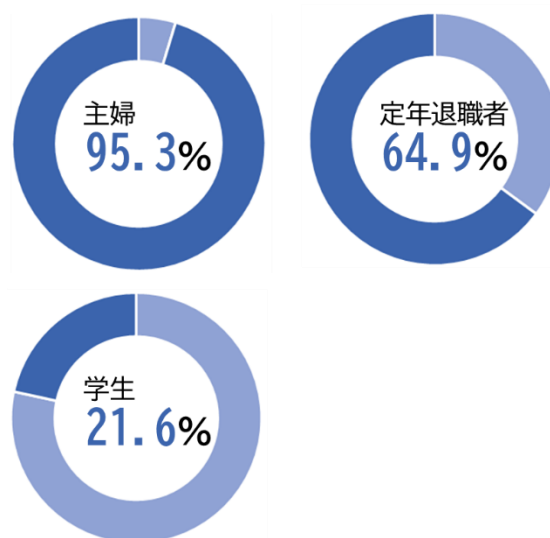
以上を 50 歳代以降が占めており、またボランティア活動をしている人の主な属性を「定年退職者」と答えた図書館の割合も 6 割強となっています。高齢化が進むにつれて、活動を担う人材の高齢化や、活動の担い手不足などボランティア活動にも様々な課題が生じていきます。

一方で、可処分時間を持つ年代層は、セカンドライフを過ごしている高齢者層であるため、高齢者がメインプレイヤーとなって市民協働を引っ張り、図書館という「場」を活かして多様な年代層の市民の参加を得て、ボランティア活動を進めていくにはどうすべきか考えていく必要があります。高齢者の経験や知識、知恵は、社会を豊かにする貴重な資源です。ボランティア活動を通じて、高齢者が生き生きと活躍できる社会を築いていくことが大切です。

①主な年齢層



②主な属性



図表 7-1 ボランティアの主な年齢層と属性（出典：文部科学省「公立図書館におけるボランティアの活動に関する実態調査報告書」）

#### (4)開館時間の多様化

ライフスタイルの変化に伴い、図書館の開館時間も多様化しています。以前は夕方までの開館が一般的でしたが、共働き世帯の増加や、仕事や学業で日中図書館を利用できない人のために、平日夜間や土日祝日も開館時間を延長する図書館が増えてきています。また、電子図書館の普及により、24時間 365 日利用できるサービスも提供されています。

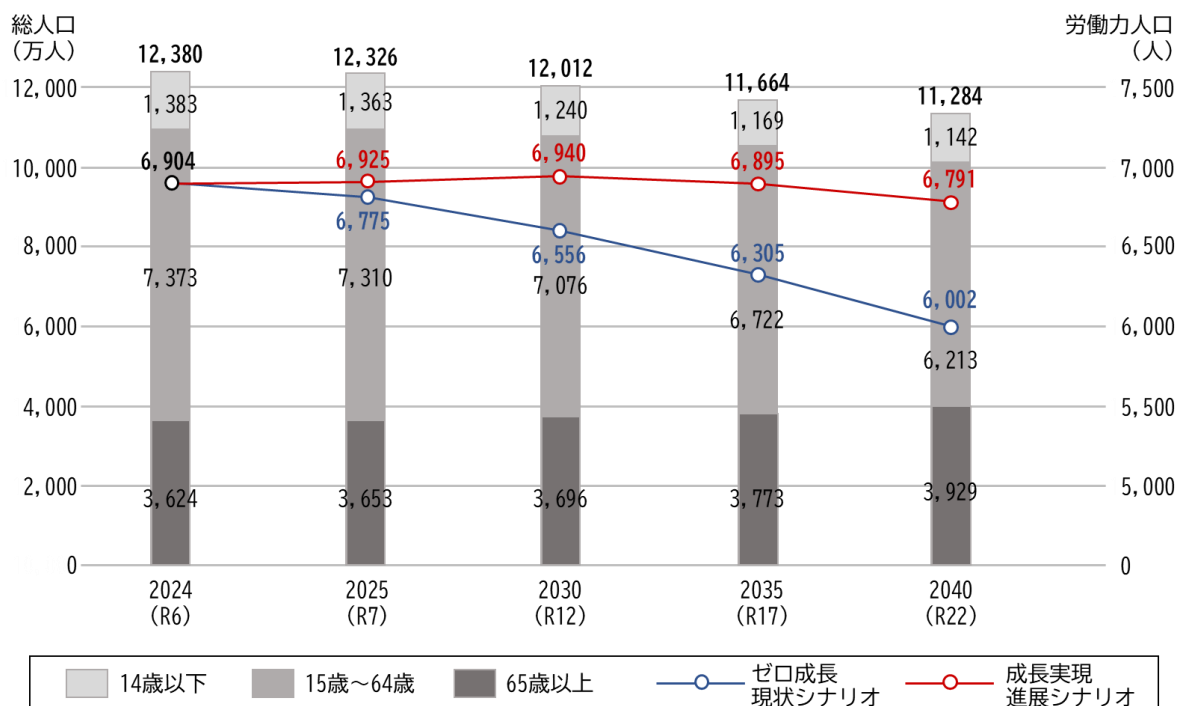
図書館のあり方を検討するにあたっては、地域住民の利用状況や利用者ニーズの変化に合わせて、開館時間やサービス内容を柔軟に調整していくことが求められます。

#### (5)DXによる効率的なサービスの提供

総務省の労働力調査によると労働力人口（15 歳以上の人口のうち、就業者と完全失業者を合わせた人口）は、2024（令和 6）年平均で 6,957 万人と、前年に比べ 32 万人の増加（2 年連続の増加）となったことが明らかになりました。しかし、これは専業主婦などの女性や高齢者の労働参加が進んだことが大きく影響しており、労働政策研究・研修

機構（JILPT）は、高齢者や女性の労働参加が今後も続いた場合でも、労働力人口は2025年ごろから減少に転じると試算しており、将来的な労働人口の減少がいずれ避けて通れないことを考えると、DX（デジタルトランスフォーメーション「Digital Transformation」）による生産性向上や省力化に取り組むことは喫緊の課題です。

図書館においても、DXを検討することで、従来の司書の基本的業務である資料の貸出・返却、蔵書点検などの業務を効率化・省力化し、選書やレファレンス、自主事業などの活動時間を確保でき、サービスの向上や他の図書館との差別化が可能となります。



図表 7-2 労働力人口の見通し（出典：独立行政法人 労働政策研究・研修機構「労働力需給モデルによるシミュレーション」）

## （6）地域社会への影響

従来、協調性やコミュニケーション力といった社会性は、身近な家族や親族をはじめ、近所づきあい、自治会、子供会などに参加することにより身につくものでした。しかしながら近年、産業構造の変化や都市化が進むにつれて、地域コミュニティに参加しない人々も増えており、同時に連帯感の希薄化や地域の教育力の低下が指摘されるようになってきています。

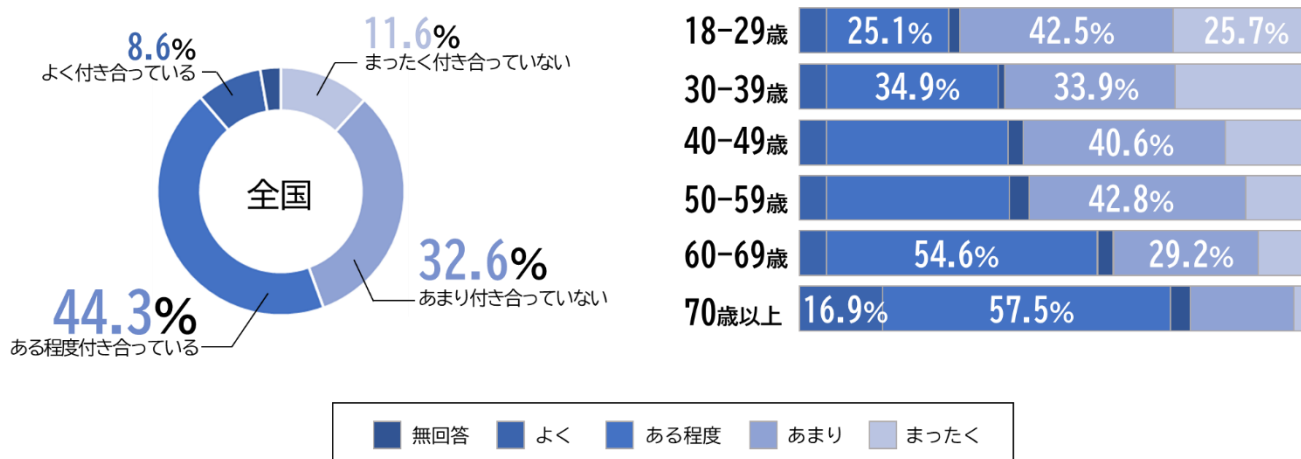
人とのふれあいは安心感ややすらぎを生む一方で、人間関係の摩擦の原因になることもあり、この摩擦を避け、独りで過ごすことを好む人が増加した結果、人とうまく関わるできない子供たちや大人の増加に影響を及ぼし、地域コミュニティの希薄化・弱体化に拍車をかけていると推測されます。

地域社会への参加意識を促し、醸成するためには、子供・若者・親世代・シニア世代などの多様な世代が日常的に集い、交流し、新たな活動や学びを生み出すきっかけづくりが必要です。

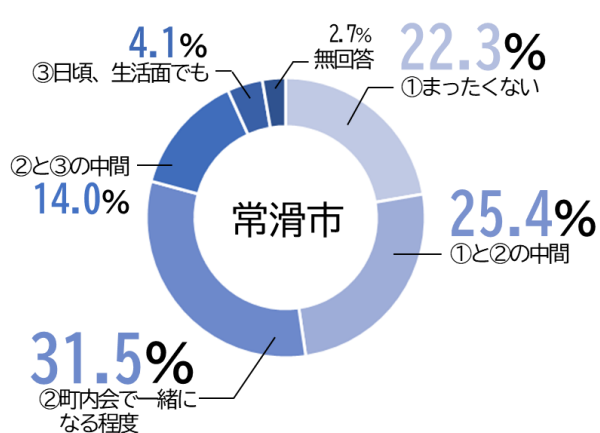
近年では、公共図書館が、その集客性を活かして市民を惹きつけ、出会いの場、交流の

場、賑わいの場として機能することも求められています。

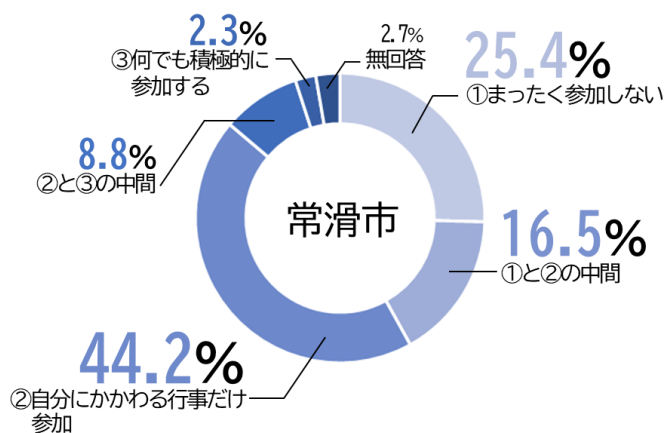
公共図書館の所蔵する資料や情報を活用し、市民講座やイベントを開催するなど、同じ分野に興味・関心を持つ市民と市民とを結び付け、新たな知のネットワークを創出することが期待されており、そのために、地域団体や個人が利用することができる会議室やグループ学習室、また作品を展示したり、気軽にアートや文化に触れることができる市民ギャラリーなどの空間を図書館の中に設ける自治体も増えています。



図表 7-3 現在の地域での付き合いの程度  
(出典：内閣府「令和6年度 社会意識に関する世論調査」)



図表 7-4 近所づきあいの程度  
(常滑市地域公共交通計画【調査編】より)



図表 7-5 地域行事への参加の程度  
(常滑市地域公共交通計画【調査編】より)

## 2 コロナ禍による生活スタイルの変化

2020（令和2）年より新型コロナウイルス感染症が急激に広がり、感染拡大防止のため外出や社会活動が制限されました。図書館についても一時閉館や利用制限が行われたことにより、本の入手や閲覧の機会が制約され読書の機会が減少しました。

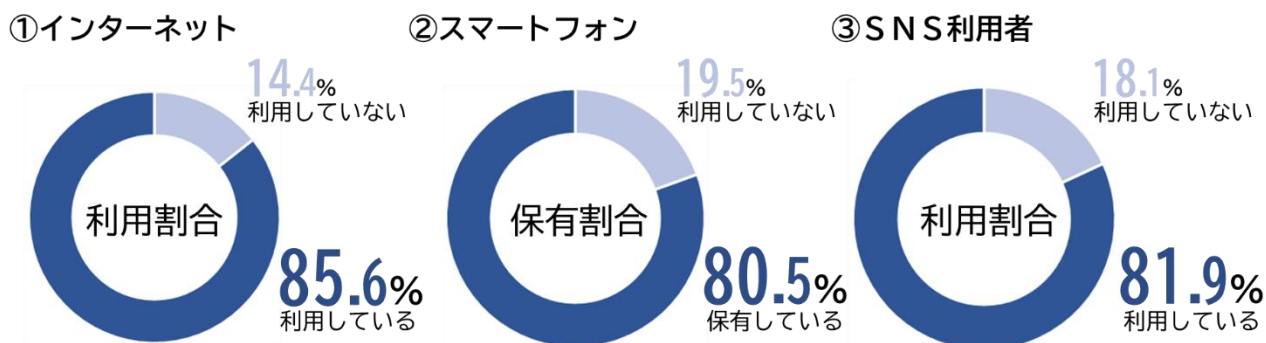
コロナ禍以降、人々のスマートフォンによるインターネット利用が加速しており、総務

省の通信利用動向調査によれば、インターネット利用者の割合は 8 割強となっており、世帯におけるスマートフォンの保有割合は 9 割を超えています。情報のデジタル化の急速な進展とインターネットの普及は、図書館の従来のあり方やサービスに大きな影響を与えており、利用者は来館せずに図書館が収集、購入している資料にアクセスすることが可能になるとともに、情報や資料収集の手段が増え、必ずしも図書館を通じて資料を集める必要がなくなってきました。今後の図書館の機能や役割を検討するにあたっては、これまで見過されてきた図書館の場・空間としての役割の見直しも必要です。

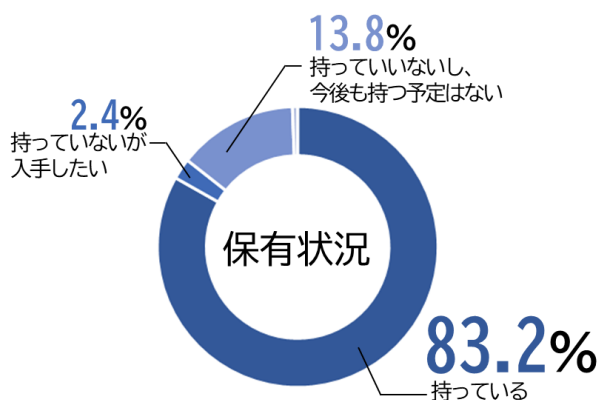
## (1) ソーシャルメディアの活用

総務省の通信利用動向調査によれば、SNSの利用者の割合は全体で 8 割を超えており、50 歳以上は、年齢階層が上がるごとに利用割合が下がっていく傾向にありますが、80 歳以上でも 5 割を超えています。

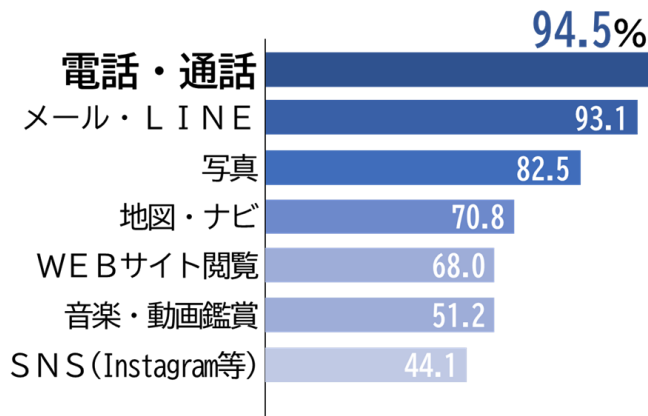
ソーシャルメディアの特徴は誰もが情報の発信者となれることであり、情報の拡散が瞬時に、そして容易に行えることにあります。公共図書館の中にも SNS を開設し、効率的な情報提供や新規利用者の獲得を行っている事例が多くみられるようになりました。



図表 7-6 総務省「令和 6 年度 通信利用動向調査」



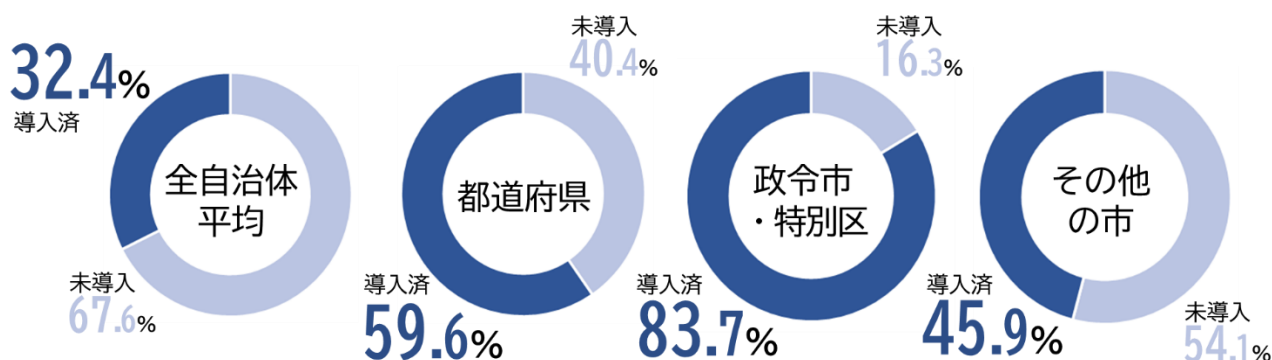
図表 7-7 スマートフォンの保有状況  
(常滑市地域公共交通計画【調査編】より)



図表 7-8 スマートフォンの用途  
(常滑市地域公共交通計画【調査編】より)

## (2)電子書籍の導入

全国で一斉休校が始まった3月には、多くの出版社が漫画や雑誌のバックナンバーを無料公開し、4月になるとこれまで電子書籍化されていなかった作家の作品も相次いで電子化されるなど、電子書籍による読書が習慣化されています。公立図書館においても、電子書籍サービスの導入が進んでおり、「電子図書館・電子書籍サービス調査 2024」によると全国の自治体の導入率は3割弱、市の導入率は4割強となっています。



図表 7-9 電子図書館導入自治体比率（出典「電子図書館・電子書籍サービス調査 2024」）

## (3)地域資料のデジタルアーカイブ

新型コロナウイルス感染症の流行による図書館の休館や、住民が図書館へ来館が困難な状況でも、インターネットやデジタルネットワーク技術を活用し、図書館資料の閲覧や複製などアクセスを保障することは重要であるため、図書館が収蔵する地域資料のデジタル化し、オンラインで閲覧できるようにする取組も進んでいます。

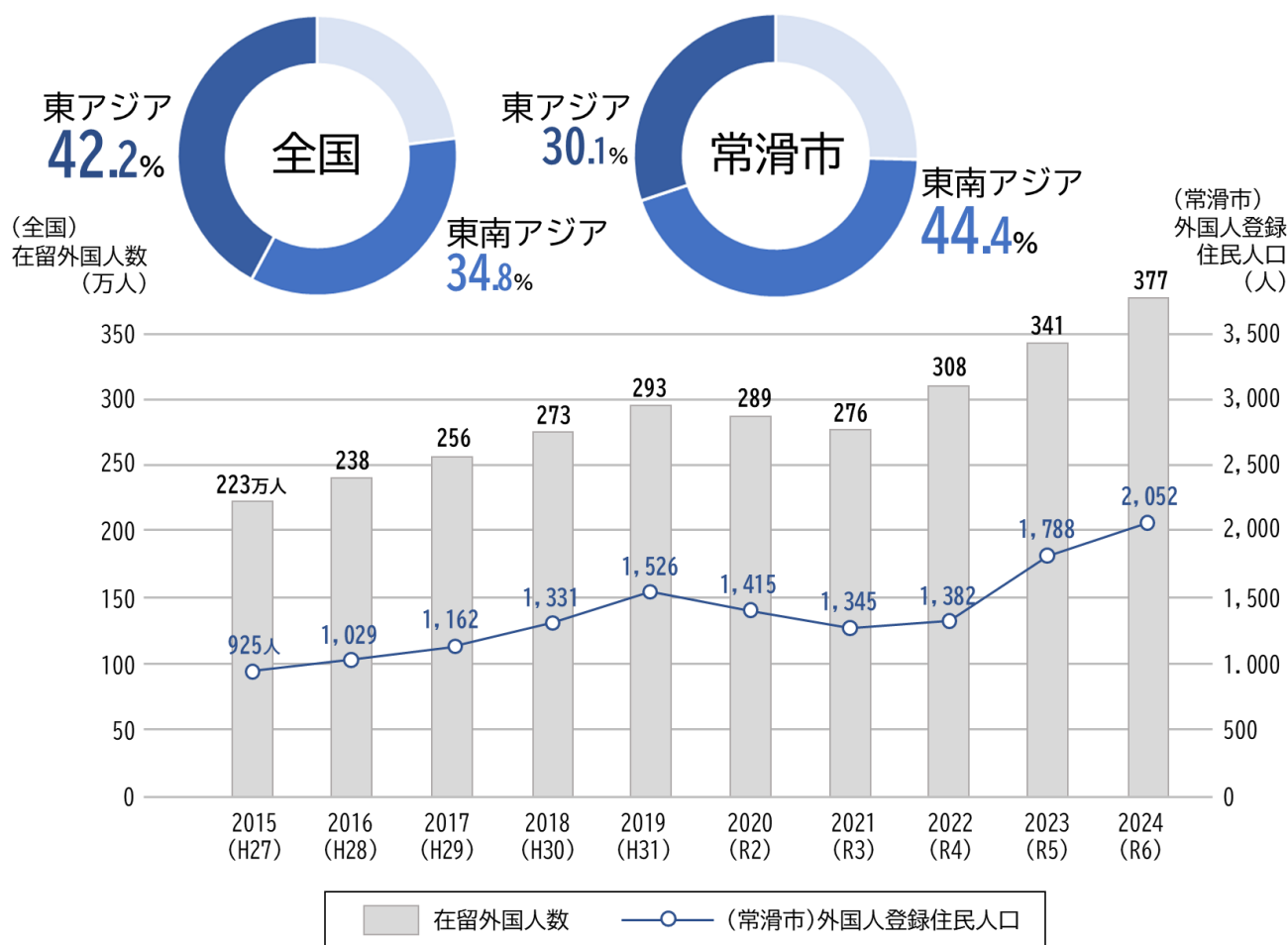
構築・運用に向けた財源や構築後の管理・更新、アーカイブの意義や必要性が理解されず活用する人が限られてしまっているなど課題も多くありますが、図書館の資料が、地域資源を発掘・活用して地域の活性化に貢献したり、地域住民の学習教材としてや文化継承に寄与するなど、今後さらなる事業の展開や図書館と地域をつなげる良い循環を生み出していくことが期待されます。

## 3 国際化と多文化共生

入国制限の緩和や、特定技能・技能実習・留学などの在留資格による入国者数の増加により、在留外国人数は増え続けており、出入国在留管理庁の公表資料によると、国内における令和6年末の在留外国人数は、前年比約10%増の約377万人となり、過去最高を更新しています（特定技能や技能実習生の割合が約6割、永住者の割合が約3割）。

国籍・地域別に見ると、ベトナム・フィリピンなど東南アジア地域の割合が約4割、ついで中国・韓国など東アジアの割合が3割弱となっています。

常滑市においても、在住外国人数は、年々増加傾向にあり、外国人住民登録人口は、2052人（人口の約4%）、東アジア・東南アジア地域の割合が約7割となっています。



図表 7-10 在留外国人数  
(出典：出入国在留管理庁「令和6年末現在における在留外国人数について」)

## (1) 多文化サービス

現在の図書館では、館内に児童向けのコーナーが設置され、乳幼児や就学前の児童向けの絵本が背の低い書架に表紙が見えるように分かりやすく配置されていたり、小説などの大型活字本や文字拡大機の設置、高齢者向け音読イベントの実施など児童サービスや高齢者サービスが広く提供されていますが、その一方で、在住外国人や多様な文化背景を持った住民への図書館サービスは全国的にもまだ十分実施されていません。

今、日本には、外国籍の子供、日本国籍でも外国にルーツがある子供が数多く暮らしていますが、図書館がどのようなサービスをする所か、そこでどのように過ごすことができるのか、自分が読みたい本や資料があるのか、わからなければ、足を踏み入れようとは思いません。図書館のあり方を検討するにあたっては、すべての住民に対して公平で平等な図書館サービスが提供されるよう、地域の実情やそこに住む在住外個人等の声に沿った多文化サービスを考えていく必要があります。

## (2)多文化共生

インターネットやSNSの普及により、海外のニュースや文化、ファッション、グルメなどの情報をリアルタイムに得られ、また海外に住む友人や知人と気軽に交流することができるなど、海外をより身近に感じられるようになりました。

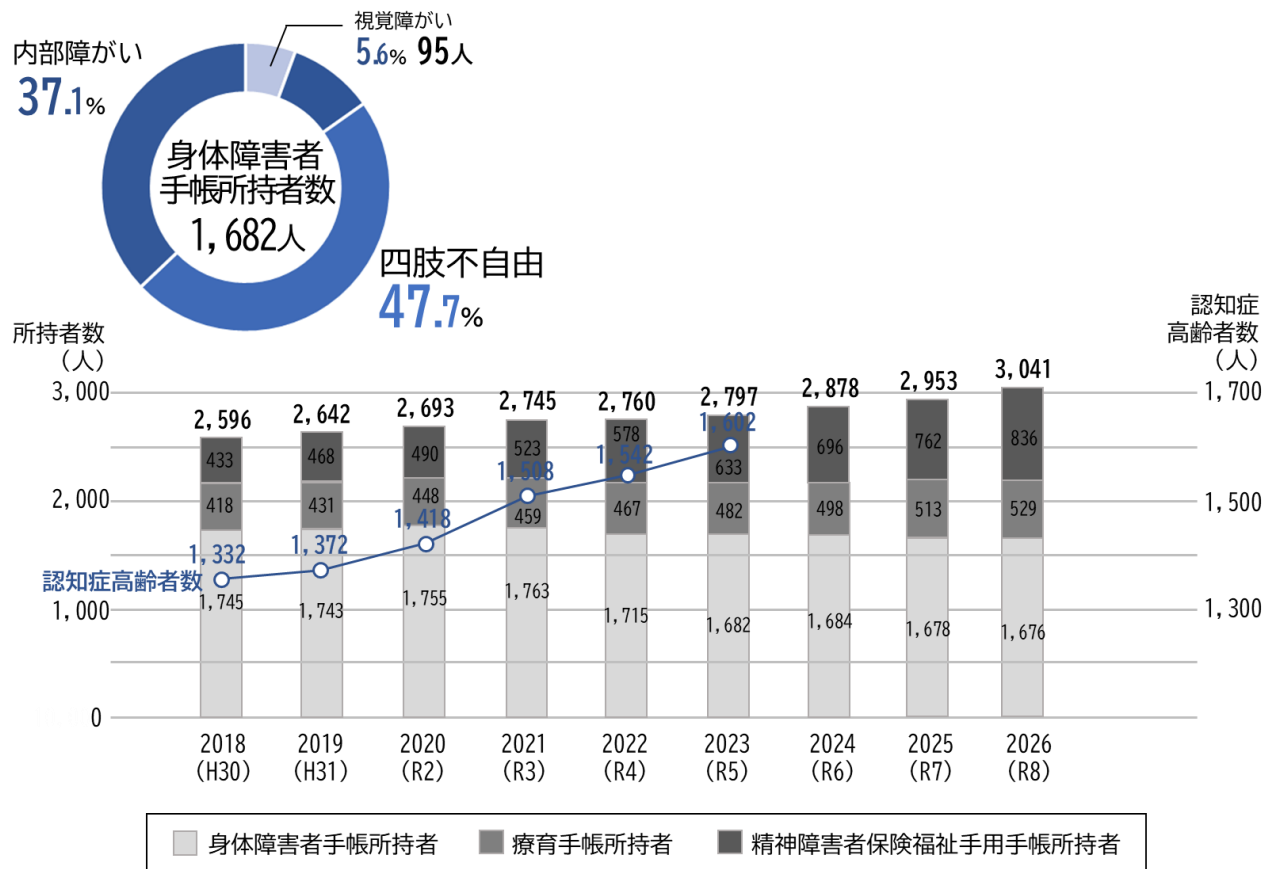
またコロナ禍以降、海外への留学やワーキングホリデーの利用者数等も回復しており、海外での生活や就労を通じて、語学力やコミュニケーション能力、自己肯定感を高めたいと考えている若者も増えています。

図書館が、外国語の資料を収集するだけでなく、外国に関する資料を提供したり、交流のきっかけとなる講座を開催するなど、若者が、共に暮らす地域に住む外国人の言葉や文化、生活について知り、さらに世界に飛び出すきっかけを作る窓口になることも求められています。

## 4 障がい者等の読書環境

国においては、国連の「障害者の権利に関する条約」を批准するため、2013（平成 25）年成立の「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」をはじめとした国内法制度が整備され、全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向けた取組が進められています。

常滑市においては、認知症高齢者数および障がいのある人が増加していくと推計されています。



図表 7-11 常滑市の障害者手帳所持者及び認知症高齢者数の推移

## (1) 読書バリアフリー

2019（令和元）年6月には「読書バリアフリー法（視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律）」が施行され、同法に基づき、2020（令和2年）7月には「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画」が策定され、障害の有無に関わらず、全ての国民が等しく読書を通じて文字・活字文化の恵沢を享受することができる社会の実現に向けて、視覚障がい者等の読書環境の整備が進められています。

例えば、視覚に障害があったり、読むことが困難（ディスレクシア）という方々は、本を買ったり借りたりして読むことが難しい場合があります。このような様々な障害のある方（「読書困難者」と呼んでいます。）が、利用しやすい形式で本の内容にアクセスできるようにすることを目指しています。

具体的な取組として、対面朗読サービスや郵送貸出サービス、拡大読書器（文字を拡大して表示できる）などの読書をサポートする機器の設置、大型活字本やLLブックなどの整備などが行われています。

## (2) 身体的なバリアフリー

高齢者や障がい者など、あらゆる人たちが社会活動に参加し、自己実現できるように、建築物や交通機関などにおいてバリアフリー化が進められてきましたが、施設ごとにばらばらにバリアフリー化が進められ、連続的なバリアフリー化が図られていない、ソフト面での対策が不十分などの課題があったことから、2006（平成18）年12月には「バリアフリー新法（高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律）」が施行され、図書館を含む公共施設、公共交通機関、道路、駐車場、公園などにもバリアフリー化基準への適合が求められるようになりました。

また図書館の設置及び運営上の望ましい基準（平成24年12月19日 文部科学省告示第172号）においても、市町村立図書館において、高齢者や障がい者等が図書館施設を円滑に利用できるよう、傾斜路をはじめとした施設上の配慮も求められています。

具体的な取組として、車いすの方やベビーカーを利用している方が通りやすい書架間の広さや点字ブロック、目の不自由な方のための音声案内（多言語含む）やオストメイト対応や簡易ベッド付きのバリアフリースイレなどバリアフリー設計が導入されています。

## (3) 認知症バリアフリー

日本では、65歳以上の高齢者人口が全人口の約3割に達し、認知症の患者数も年々増加しており、5人に1人が認知症になるといわれています。2025（令和7）年には700万人を超え、2050（令和12）年には1,000万人に増えると予測されており、常滑市においても、認知症高齢者は毎年増加しております。

現場で働くスタッフが認知症への理解を深め、地域での見守りの意識をもって対応していくことにより、生活の一部として図書館を使って来られた方々が年齢をかさねて認知症となっても使い続けられるようにしていく必要があります。

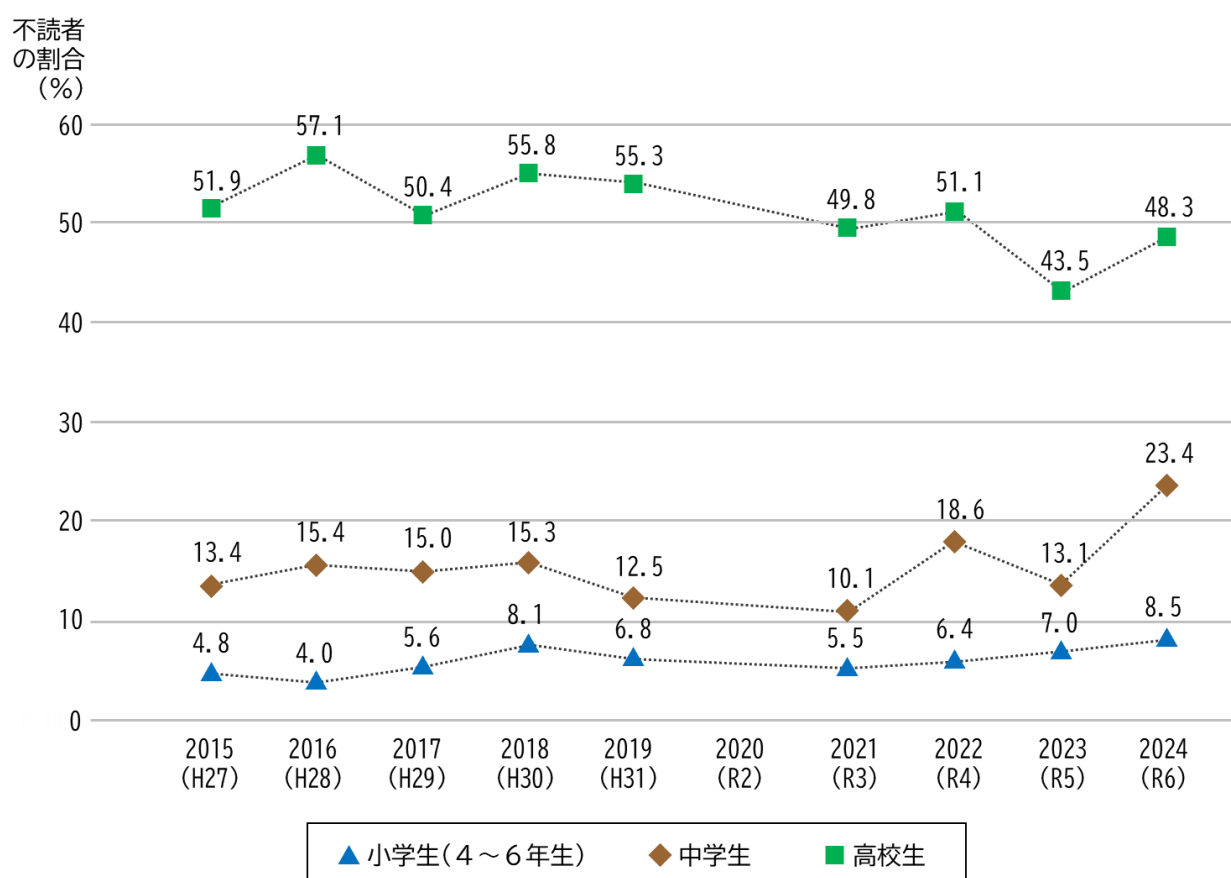
具体的な取組として、窓口職員の「認知症サポーター」養成講座の受講、地域包括支援センターとの連携・橋渡し、認知症に関する啓発イベントや認知症の方が参加できるイベントの実施などが行われています。

## 5 子供の図書活動

今日、子供たちを取り巻く社会環境は大きく変化しています。テレビやゲーム機、スマートフォンやインターネットなどの様々な情報メディアの急速な普及により、読書環境は大きく変化し、子供の興味や関心が多様化した結果、読書離れや国語力の低下が指摘されるようになってきました。公益社団法人 全国学校図書館協議会が実施した「第 69 回学校図書館調査」によると、高校生の不読者（5月の1か月間に読んだ本が0冊の児童生徒）の割合は50%前後を推移しており、小学生や中学生の不読者の割合も年々増加傾向にあります。

しかし、子供の読書活動は、知識や情報を得られるとともに、自ら考える力を養い、感性や想像力を豊かなものにし、自己表現を育む上で大変重要です。また、生涯にわたる読書の習慣と楽しみを体得することのできる重要な時期であり、読書によって多様な物語に親しみ、多くの知識を習得し、様々な情報に触れることは、子供の可能性を広げ、将来への夢や希望を持つことにもつながります。

そのため、家庭や地域、学校や図書館、読書活動を行う団体などが、相互に連携を図りながら、子供たちの読書意欲を喚起し、すべての子供たちが自主的に読書活動を行うことができる環境の整備を進める必要があります。



図表 7-12 学校読書調査による不読者の割合の推移  
(出典：全国学校図書館協議会)

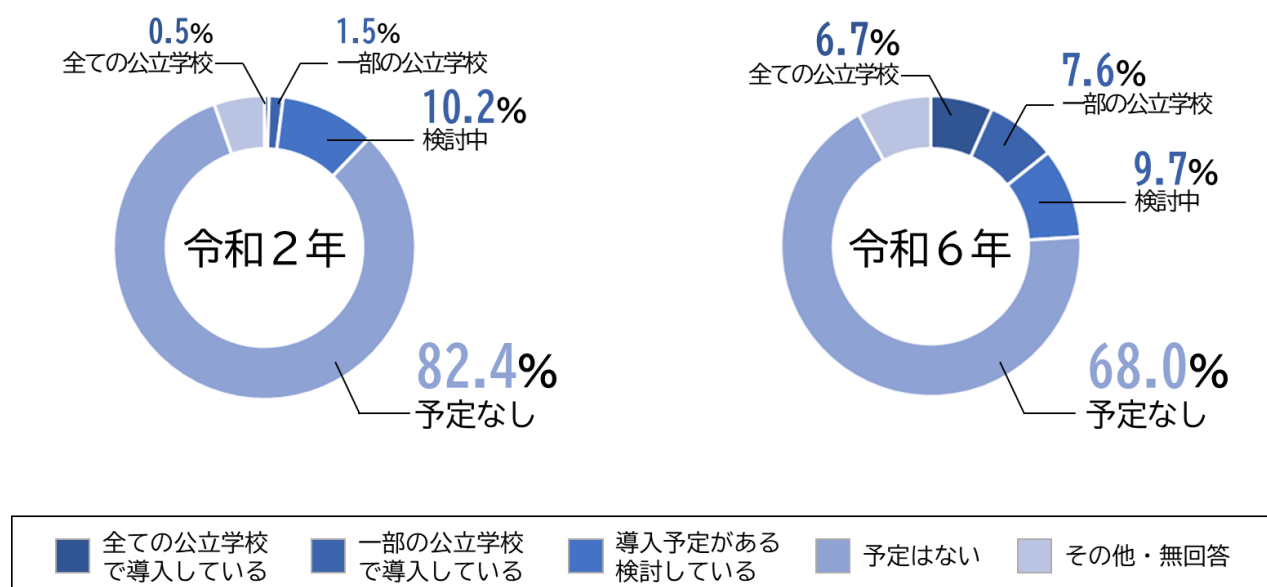
## (1) 読書習慣の形成

幼児期の本の読み聞かせは、就学後の読書習慣の形成や読書量に大きな影響を与えていると言われています。ブックスタート事業や乳幼児向けの読み聞かせイベントなどによる家庭における子供の読書活動の推進や、保育園・幼稚園、子育て支援センター、児童育成クラブなど地域における読み聞かせの充実など、幼児期に読書に親しむきっかけづくりが重要となります。

多くの調査で「読書時間の減少」と「読書離れ」が示されており、その主な理由として「本を読みたいと思わないから」という理由が上位を占めています。子供の読書の関心を高めるためには、図書館へ行くきっかけ作りや、自分の趣味や興味にあった本に触れる機会を増やすことも重要となります。具体的な取組として、子供同士での本等の紹介や話し合いを行う「読書会」、「書評合戦（ビブリオバトル）」、「ペア読書」、「味見読書」、「まわし読み新聞」、ゲーム感覚で実施される「本探しゲーム」などの取組みが行われています。

## (2) デジタル社会に対応した読書環境の整備

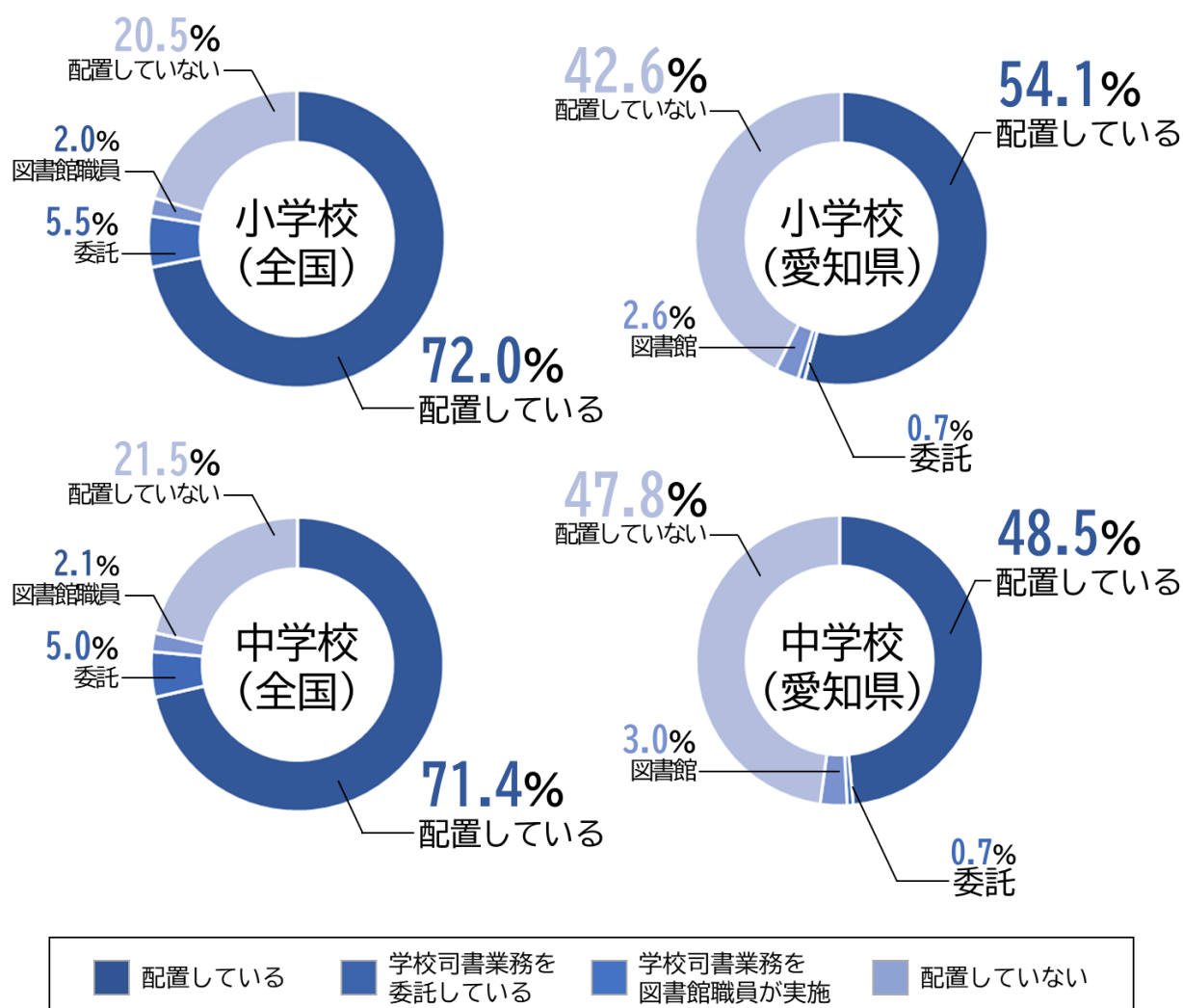
学校においては、一人一台端末環境が整備され、GIGAスクール構想が着実に進展しています。従来であれば、調べものをするときは紙の本を手に取り行っていましたが、現在では、スマートフォンやタブレットで検索することが、より身近な方法となっており、子供の読書へのアプローチも大きく変化しています。自治体によっては、電子書籍等の利用や図書館・学校図書館のDX化が進められ、公立図書館と学校図書館の連携等による電子図書館サービス導入も広がりつつあります。



図表 7-13 公立学校への電子書籍サービスの導入状況  
(出典：文部科学省「電子図書館・電子書籍と子供の読書活動推進に関する実態調査」)

### (3) 学校図書館の環境整備

子供にとって一番身近で多くの本に触れることができる学校図書館は、読書が好きな子供を育てるうえで重要な役割を担います。第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」が策定され、学校図書館図書標準の達成、計画的な図書の更新、学校司書の配置拡充など、学校図書館の一層の環境整備を求められており、学校図書館が子供にとって居心地の良い居場所となるよう、子供の意見を取り入れた選書や、学校司書を配置することで、開館時間の拡大、読み聞かせなど読書活動の実施、学習活動の中でより効果的に活用することが必要とされています。



図表 7-14 公立学校における学校司書の配置状況

(出典：文部科学省「令和5年度 公立学校における学校司書の配置状況に関する調査」)

## 第2節 国や関係機関の動向

これからの図書館や学校図書館が担うべき役割や使命を明確にするため、数々の関連法の整備や提言、また計画策定や調査が行われています。近年の状況は次のとおりです。

### (1)第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」(2022(令和4)年1月)

学校図書館の整備充実は進展しているものの、全ての学校での学校図書館図書標準の達成や新聞の配備、司書の配置には至っていないという令和2年度「学校図書館の現状に関する調査」の結果を受け、全ての公立小中学校等において図書館図書標準の達成を目指すとともに、計画的な図書の更新、新聞の複数紙配備および学校司書の配置拡充を図って策定しています。

### (2)第5次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」(2023(令和5)年3月)

子どもの読書活動の推進に関する法律(平成13年法律第154号)に基づき、おおむね5年にわたる子供の読書活動推進に関する基本的方針と具体的な方策を示されており、図書館に関わる方策として次の4点が示されています。

- ①**不読率の低減**(就学前からの読み聞かせ等の促進、不読率が高い高校生のために探究的な学習活動等での図書館等の活用促進など)
- ②**多様な子供たちの読書機会の確保**(アクセシブルな電子書籍・書籍等(点字資料等)の整備・提供、多言語・やさしい日本語による利用案内、特別支援学校を含めた学校図書館資料の整備など)
- ③**デジタル社会に対応した読書環境の整備**(1人1台端末の活用(学校図書館システム等のリンク等)、電子書籍貸出サービス、デジタルアーカイブの充実など)
- ④**子供の視点に立った読書活動の推進**(子供の要望を取り入れた資料・環境整備、図書委員等の子供の学校図書館の運営への主体的な参画など)

### (3)読書活動の推進に携わる人材の育成に関する実態調査(2024(令和6)年3月)

多様な子供たちの読書機会の確保及びデジタル社会に対応した読書環境の整備の推進のため、図書館職員、司書教諭・学校司書、教員、幼稚園教諭、保育士などの、子供の読書活動に携わる人材の育成の状況について幅広く実態を把握することを目的として行ったもので、調査結果を踏まえ今後次の点に取り組んでいくことが重要だと総括されています。

- ①読書活動に携わる人材の育成の重要性の普及啓発
- ②ICT活用やデジタル化に対応した環境整備の動機づけの手段としての研修
- ③研修対象の理解度や読書環境の整備状況別の研修プログラム例の作成
- ④基礎的な知識のインプットと実践的なスキルの向上などの研修主体毎の役割の明確化

#### (4)文部科学省「図書館・書店等連携実践事例集」(2022(令和4)年6月)

すべての国民が書籍に触れ読書を行うことができるよう図書館及び書店等の振興が図られることや、図書館等が地域の書店、出版社等との連携により地域に根差した子供のための読書環境醸成に取り組むことなどが期待されている現状を受け、全国各地で進められている特徴的な取組をまとめたもので、「図書館と書店等が連携して行う特色のある読書活動・行事」、「図書館と書店等とが連携した経営・運営」、「環境整備」、「その他」の4つの区分に基づき、都道府県から推薦のあった51例が紹介されています。

#### (5)図書館・学校図書館の運営の充実に関する有識者会議(2024(令和6)年10月)

人口減少・少子化の深刻化、デジタル化、グローバル化の進展等により将来の予測が困難になり、学校・社会の課題が複雑化・困難化する中、急激に変化する時代に必要とされる資質・能力を育む上で、読解力、思考力、表現力等を養う読書活動の推進は不可欠とする見方を背景に設置されました。図書館・学校図書館が今後より一層積極的な役割を果たすことが求められているという認識のもと、次の検討を行います。

- ①学校・家庭・地域の連携による社会全体を通じた読書環境の充実について
- ②読書バリアフリー法の制定やICTの急速な発展等の社会変化を踏まえた図書館及び学校
- ③図書館の運営やサービス等について
- ④図書館・学校図書館の運営上の諸課題への対応について
- ⑤その他、図書館・学校図書館の運営の充実について

## 第8章 図書館のあり方についての市民ニーズの把握

### 第1節 調査の実施概要

図書館のあり方について、多様な市民ニーズを把握するために、以下に示す各種調査等を実施しています（各調査等の詳細については、資料編を参照）。

|                          |                                                                                                                                                                                                               |
|--------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 青海・南陵<br>公民館利用者<br>アンケート | <p>対 象：市内在住者の青海公民館・南陵公民館（図書館含む）利用者</p> <p>調査方法：</p> <p>調査内容：利用頻度、公民館のあり方、公民館図書室のあり方、図書館のあり方</p> <p>調査時期：2024（令和6）年2月</p> <p>回収状況：512票（うち公民館利用者 350票、図書館利用者 162票）</p>                                          |
| 図書館非利用者<br>アンケート         | <p>対 象：市内在住者で常滑市立図書館を利用したことがない人<br/>市内在住者で常滑市立図書館を利用しなくなった人</p> <p>調査方法：</p> <p>調査内容：利用頻度、各図書館の認知度、利用しない理由、どうしたら利用するようになるのか、図書館のあり方、複合化に対する考え方、ホールの規模、電子書籍の利用有無</p> <p>調査時期：2024（令和6）年5月</p> <p>回収状況：409票</p> |
| 文化施設等のあり方検討のためのアンケート調査   | <p>対 象：市内在住者</p> <p>調査方法：専用フォームによるオンライン回答</p> <p>調査内容：利用頻度（有無）、図書館のあり方、複合化に対する考え方、ホールの規模、電子書籍の利用有無、分散移転後の利用頻度、図書館に求めるもの、図書館の認知度、利用しない理由、どのような図書館であれば利用するのか</p> <p>調査時期：2024（令和6年）6月</p> <p>回収状況：814票</p>      |
| 中学生アンケート                 | <p>対 象：市内の全ての中学生</p> <p>調査方法：専用フォームによるオンライン回答</p> <p>調査内容：読書の好き・嫌い、学校図書館に行く頻度、勉強時間、勉強場所、図書館に行く目的</p> <p>調査時期：2025（令和7年）7月</p> <p>回収状況：票</p>                                                                   |
| 図書館市民ワークショップ             | <p>対 象：公募による応募者 32名及び無作為抽出による応募者 57名</p> <p>開催日時：第1回 2025（令和7年）5月25日<br/>第2回 2025（令和7年）6月15日<br/>第3回 2025（令和7年）8月31日<br/>第2回 2025（令和7年）9月21日</p>                                                              |
| 中学生ワークショップ               | <p>対 象：公募による応募者 名</p> <p>開催日時：2025（令和7年）9月13日</p>                                                                                                                                                             |

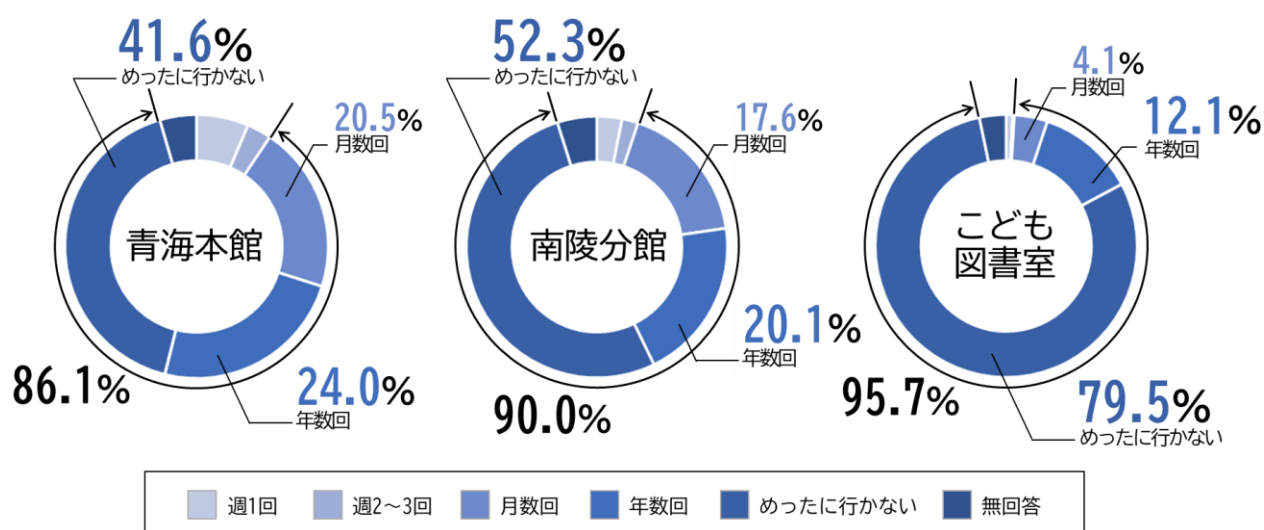
図表 8-1 各種調査等の実施概要

## 第2節 調査結果の概要

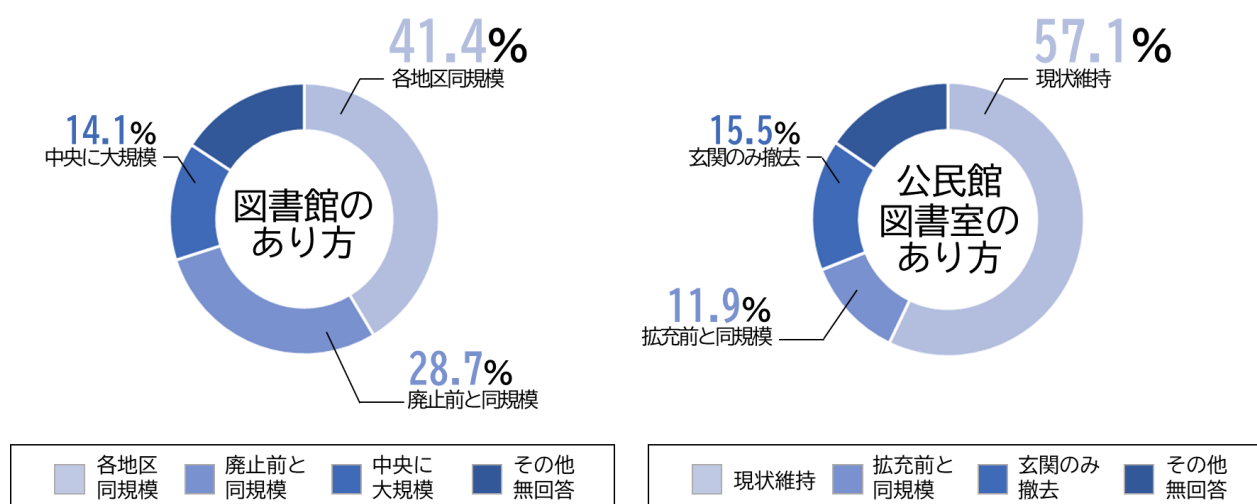
### 1 青海・南陵公民館利用者アンケート

#### ①図書館の利用頻度

- ・公民館を利用している人のうち、図書館の利用頻度は「月数回～年数回」が全体の各館で約9割を占めています。なおこども図書室が他の館より多いのはアンケートの回答者の8割が40代以上であるためだと推測されます。
- ・「めったに行かない」人の割合が各館とも多く、公民館の利用者を図書館に巻き込むことも課題の一つです。



図表 8-2 公民館利用者の図書館の利用頻度



図表 8-3 図書館のあり方

図表 8-4 公民館図書室のあり方

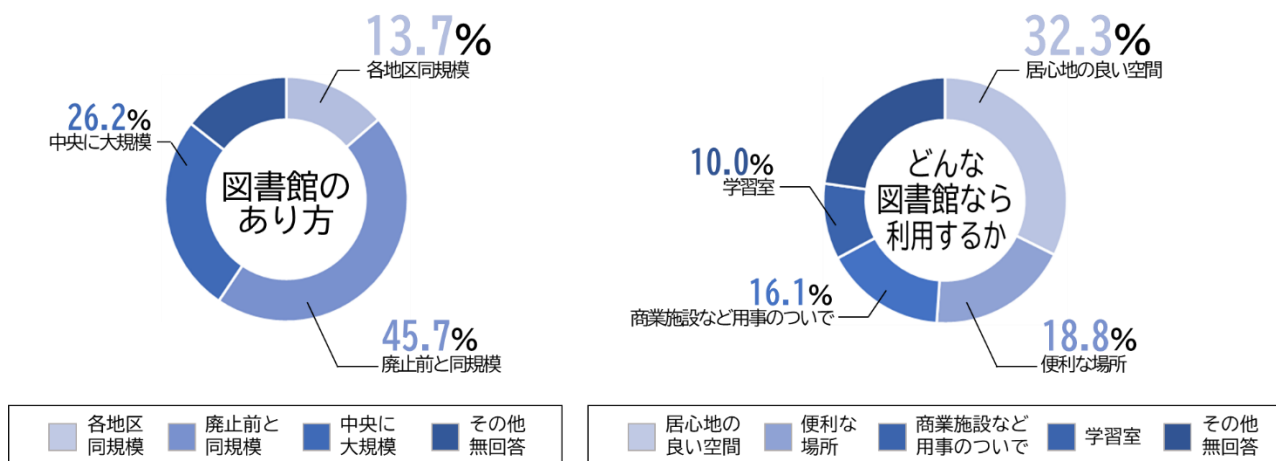
#### ②図書館のあり方

- ・「各地区同規模」を望む利用者が4割いる一方で、「廃止前の図書館と同規模」を望む利用者も3割以上いました。

### ③公民館図書室のあり方

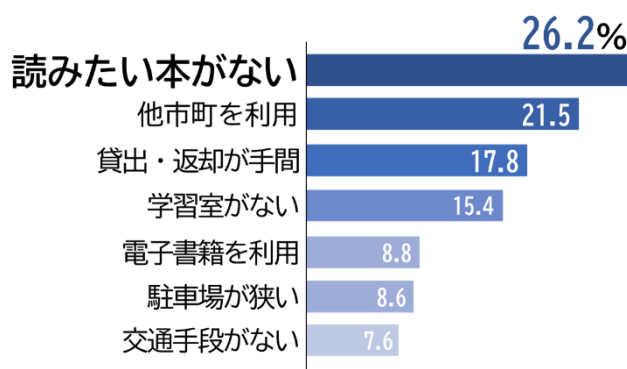
- ・「現在の規模を維持してほしい」が全体の6割
- ・「玄関ホールや書棚のみ撤去」「分散移転前の状態」など以前の状態を望む利用者が1割ほどおり、これは分散移転により、ホール（ラウンジ）でくつろげなくなったことが原因と考えられます。

## 2 非利用者アンケート



図表 8-5 図書館のあり方

図表 8-6 どんな図書館なら利用するか



図表 8-7 図書館を利用しない理由

### ①図書館の利用頻度

- ・「今は利用していない」が全体の8割
- ・「利用したことがない」のうち3割が19～30歳代でした。

### ②図書館のあり方

- ・「廃止前と同規模」が全体の5割程度と最も多く、ついで「中央に大規模」が3割、「各地区同規模」は1割でした。

### ③図書館にあると良い施設

- ・「飲食施設」が全体の5割、落ち着いて読書ができるスペースや多目的スペース、休憩エリアなどが2割弱となり、ゆっくりとできる図書館であることが求められ

ていると考えられます。

- ・学習室を希望する声は全体の2割弱でした。

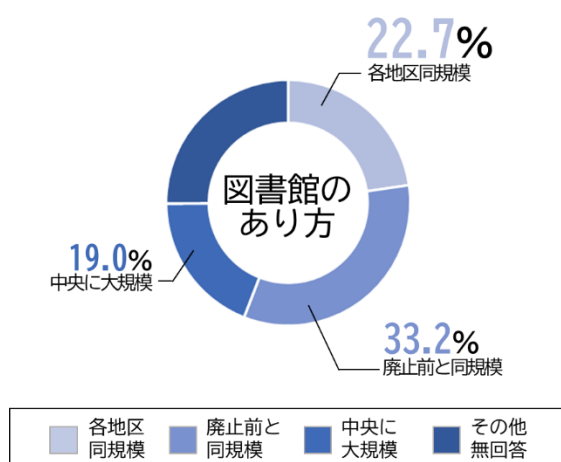
#### ④図書館を利用しない理由

- ・「読みたい本は購入している」「パソコンやスマホで調べ物ができる」が全体の5割で読書のあり方そのものが変化していると考えられます。
- ・「読みたい本が図書館にない」も全体の3割弱おり、図書の充実も課題の一つであることがわかります。

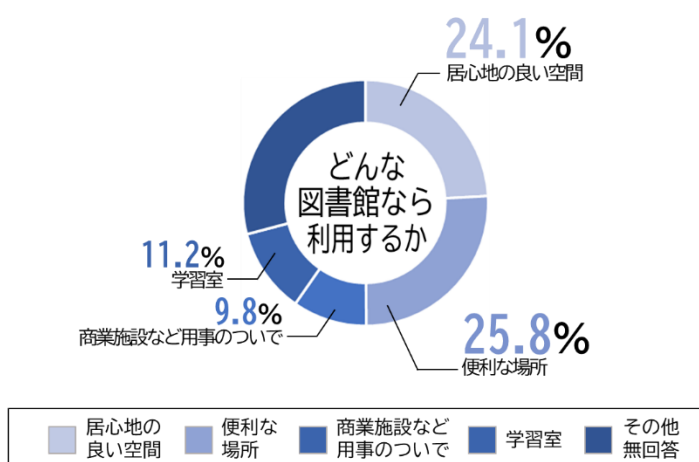
#### ⑤どのような図書館であれば利用するか

- ・最も高かったのは「本を借りなくても1日過ごせる空間がある」が全体の3割で年齢が上がるほど選択率が高くなっており、図書館に「居場所」を求めている者が多いことが分かります。
- ・「行くのに便利な場所にある」が約2割、「商業施設の中など他の用事のついでに寄れるような場所にある」も2割程度おり、前者は若年層と高齢者、後者は30歳代以上の回答率が高くなっています。

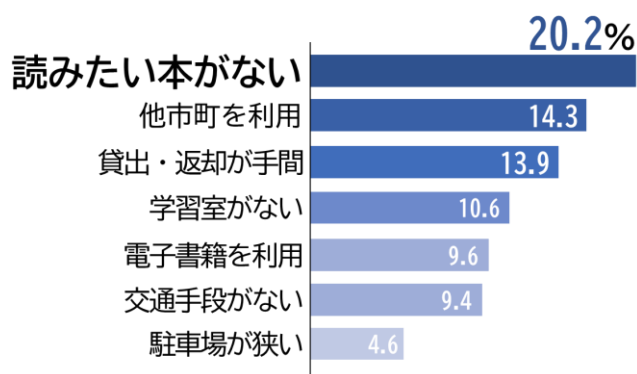
### 3 文化施設等のあり方検討のためのアンケート



図表 8-8 図書館のあり方



図表 8-9 どんな図書館なら利用するか



図表 8-10 図書館を利用しない理由

### ①図書館の利用頻度

- ・「今は利用していない」が全体の4割（うち中学生が3割）、「利用したことがない」が全体の2割（うち中学生が6割）となっており、非利用者はもちろんですが、若年層を取り込むための施策も必要と考えられます。

### ②図書館のあり方

- ・図書館の利用者・非利用者ともに「廃止前の図書館と同規模」を望む声が最も高く、「各地区同規模」を望む声も、特に中学生の間で多くなりました。

### ③図書館にあると良い施設

- ・利用者・非利用者アンケートと同様に「飲食施設」が全体の5割となりました。
- ・利用者が「落ち着いて読書ができるスペースや多目的スペース、休憩エリア」を求める一方、非利用者は学習室を希望する声の方が多い結果となりました。

### ④図書館に求めるもの（対象：利用者）

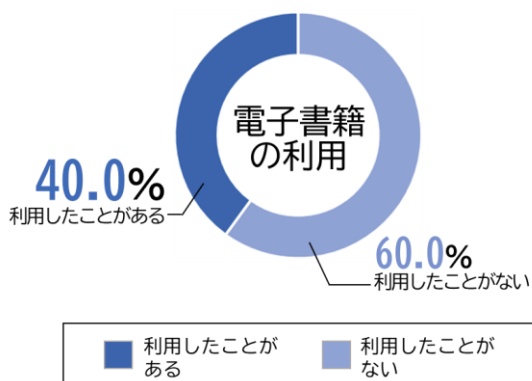
- ・「行くのに便利な場所にある」が全体の6割弱で、いずれの年代でも選択率が高い結果となりました。
- ・利用者のうちの約4割が「所蔵する本や資料の冊数・種類が多い」ことを求めており、ユーザーの満足を満たせていない現状が伺われました。
- ・また非利用者アンケートと同様に、「図書館を利用したことがない・今は利用したことがない」と答えた人のうち、「本を借りなくても1日過ごせる空間がある」が全体の2割強で、市民全体の中でも図書館に「居場所」を求めている者が多いことが分かりました。

### ④図書館を利用しない理由（対象：非利用者）

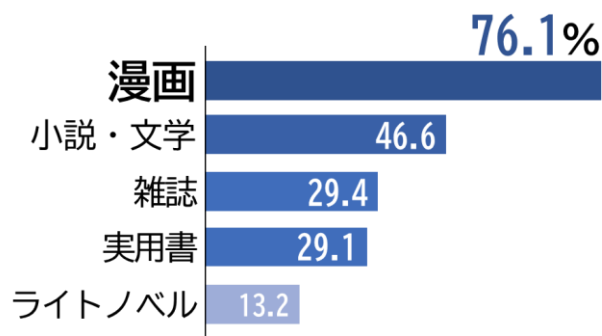
- ・「読みたい本は購入している」「パソコンやスマホで調べ物ができる」が全体の6割強で、読書のあり方そのものの変化へ対応していくことが大切だと考えられます。
- ・「本を読まない」も全体の3割弱、特に中学生や20歳代の選択率が高く、小さなころから読書をする環境づくりをする支援を行うことも、図書館の役割として重要だといえます。

### ⑤電子書籍の利用・購入

- ・回答者の4割が電子書籍を利用しており、利用者の中では、漫画、小説・文学と答えた者が多くなりました。



図表 8-11 電子図書の利用



図表 8-9 利用したことがある種類

## 4 中学生アンケート

別紙 のとおり

## 5 市民ワークショップ

## 6 中学生ワークショップ

別紙 のとおり